

令和8年度 第1回野洲市社会教育委員会議 結果

日付	令和8年7月9日（木）
時間	13時30分～15時30分
場所	本庁3階 第2委員会室
参加者	【出席】佐敷 恵威子、松本 淳子、宇野 比呂久、板倉 祥浩、上田 智子、富田 由紀子、鷺田 新介、西川 典子（委員8名） 川崎教育部長、吉川教育部次長、早田図書館長、小林文化スポーツ振興課長、福永文化財保護課長、大岡歴史民俗博物館長、中西専門員 生涯学習課：井狩課長、蜂屋参事、園主事（事務10名）

概要	
【1.開会】	・本会議は議事録及びホームページ掲載のため録音・写真撮影を行い、公開とする。
【2.部長あいさつ】	・本日は、第3次生涯学習振興計画令和7年度実績確認及び、第4次野洲市子どもの読書活動推進計画令和7年度実績について委員の皆さまからご意見をいただきたい。
【3.自己紹介】	・委員長から順に自己紹介。
【4.議事】	（1）第3期野洲市生涯学習振興計画 令和7年度実績について ・全30項目中28項目がA（目標以上）及びB評価（目標通り）という結果。 ・C評価は「基本方針2、施策1、①対面とオンラインを組合せた学習機会の充実」、[基本方針2、施策1、③実践とICTを最適に組み合わせた学校教育の2項目。 →「対面とオンラインを組合せた学習機会の充実」は、オンライン配信を行うための環境整備が整わず未実施であったためC評価。 →「実践とICTを最適に組み合わせた学校教育」の項目は目標値を大きく下回ったため。 〔委員意見等〕 ・〔基本方針1 施策1 ①ボランティア活動の促進〕上段 生涯学習カレッジの満足率が上がっているとあるが、その理由を教えてもらいたい。 →毎回参加者アンケートで参加者がどのような講座を求めているかを把握し、次年度の講座内容を決定していることが考えられる。 ・目標の内容について抽象的な項目が多い。 〔基本方針1 施策3 ③コミュニティセンターの活用 目標：交流や生涯学習に関する活動拠点の相談があればコミュニティセンターを紹介する〕 〔基本方針2 施策2 ①リカレント教育の推進 目標：大学等の教育機関から案内のあった講座について窓口にチラシを設置するなど周知を行う〕 等 →意見はもっともである。内容を見直していきたい。

・〔基本方針 3 施策 2 ②学んだことを活かす仕組みの構築〕 上段

キャリアパスポートとは何か教えていただきたい。

→子ども達が将来のことを考えるとともに、年に1回自分を見つめなおしこれからどうするかを考えるのに使われる紙媒体のシート。それを毎年度積み重ねることで、自分の心の変遷を見つめなおすことができる。

・今の目標値の設定は、数値的に表せるようなものはそれに準じて目標を設定し、それに向けての取り組みを行っている。しかし、数字だけで表せない目標を定めて行っているところもある。その部分をしっかりと説明できるように内容を考えてほしい。

・〔基本方針 2、施策 1、①対面とオンラインを組合せた学習機会の充実〕

策定してから未だに未実施だが、理由はあるのか。

→機材等の予算、編集等の専門技術を持つ人材の不足などがある。また動画をネットにあげることになるので、規定等のすり合わせを市と行う必要があるため、時間もかかっている。

→県の講演会等では zoom を使ってオンライン配信を行っている。zoom なら編集を必要としない。

また、各自が自分の意志で zoom を繋いでいるので、コンプライアンスの面もクリアできるのではないか。当日、現地に行けない人が参加する機会をつくれるので、進めていくべきである。

→参考にさせていただく。

・〔基本方針 2 施策 2 ③学校教育・社会教育との連携・協働〕

成果と課題について、『学校のカリキュラムとの整合を図る必要がある』と書かれているが、すでにある程度進められているのではないか。むしろ活動推進員の活動時間が短縮されていたりするので、現場の情報を集約して、課題をあげてほしい。

→一部、進んでいない学校があるので課題に挙げた。活動時間の確保は挙げられていなかったもので、改めて考えていく。

→推進員の活動量は増えているが、活動時間は減らされているので自由に動きづらくなっている。

今後拡充していくなら、支援は絶対に必要である。

→学校は進んでいるが、園の方はまだ充実しているとは言えない。校園両方を充実させるとともに、どのように地域・園・学校をつなげていくか見通しを持ってほしい。

・〔基本方針 2 施策 1 ③実践と ICT を最適に組み合わせた学校教育〕

目標の『児童生徒の 90%が毎日 GIGA 端末を活用する』は達成することができない。学校は、何回使うかではなく、どのように有効活用するかを重要視している。もっと現場の声をきいて、『最適に組み合わせる』とはどういうことかを考えて目標を設定してほしい。

ALT の配置も『何日配置したか』を基準に考えるのは少し寂しく感じる。

→ICT を扱うことのみを取組としているのではなく、デジタルとアナログを上手く組み合わせて、効果的に使うという方向にシフトしているという意見をいただいた。そういう意味では、今後の方向性は見直していく方向で考えていく。

・〔基本方針 2 施策 2 ②子ども・若者の地域・社会への主体的な参画と多世代交流の推進〕

職業体験の日数は例年 5 日間だったが、今年は 3 日間の学校があった。職業体験を受け入れる側としては 5 日間がいいと思うが、今後は 3 日間になっていくのだろうか。

→5 日間の方が効果的には望ましいが、受け入れ企業の都合により 3 日の方が良い部分もあり、難しいところではある。受け入れ企業も子どもたちのことを思って協力してくださっているので、

より良い方向で活動を継続できるように考えていきたい。

- ・学校司書の配置により、学校の図書環境が充実した。これは大きな成果だと思える。しかし、文化芸術・スポーツに関しては、指導者の高齢化や後継者不足が深刻である。もっと野洲市のいいところをアピールできれば、全体的に活性化できるのではないかと思う。

(2) 第4次野洲市子どもの読書活動推進計画 令和7年度実績について

- ・事務局より説明。

〔委員意見等〕

- ・子どもたちが本を手に取りやすい環境になってきている。しかし、読む子と読まない子の二極化が激しいのも事実。中主学区では、7月は『読書強化月間』にしているので、野洲市全体に広げていくのはどうだろうか。
- ・読書活動推進計画は現在第4期に入っている。過去の計画では、関係課がバラバラで、同じ方向を向いて進めるのが難しかった。今は ICT 機器の導入などで、読書の時間を取るのが難しい状況である。その中で、計画を可視化するのは大事だと思う。
- ・読書ボランティア研修会はどこが主催で、誰を対象にしているのか教えてほしい。
→主催は生涯学習課。各校園の読書ボランティア、図書担当の先生などが対象。
→社会福祉協議会でも、交流や興味のある方向けの何かをしたいと相談される。今後、協働できるところは、協力していきたい。
- ・学校司書の方に来ていただけたおかげで、生徒にも教師にも良い影響が出ている。

【その他】

- ・中畑・古里遺跡について、現地説明会の資料をもとに説明。大きさや構造、三上山が見やすい立地から、祭殿などの聖域であった可能性が高い。歴史民俗博物館と協力して、講座なども開催を予定している。
- ・移動図書館事業について説明。最初は学校司書のいる学校を回り、可能であれば幼稚園、小学校、子どもの家なども回りたい。また、移動図書館車の名前を募集する。
- ・8月22日(土)歴史民俗博物館にて、第1回野洲市生涯学習カレッジを開催。
今回は、現在の野洲市がどのようにして形づくられたのかをテーマにした講座を予定している。

【次長あいさつ】

今回いただいた意見をもとに見直し、より良い取組につとめていく。

また、本年度最初の会議ではあるが、任期としては、本日が最後の会議となる。

今回でご退任いただく方、引き続き委員を続けていただく方おられるが、引き続きご支援をいただきたい。

【閉会】